

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公開番号】特開 2006-160607 (P2006-160607A)

【公開日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報 2006-024

【出願番号】特願 2004-349225 (P2004-349225)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 P 23/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 31/167

A 6 1 P 1/02

A 6 1 P 23/02

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 29 日 (2007.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リン酸またはその薬学上許容される塩またはこれらの混合物を配合することを特徴とする局所麻酔薬物含有のゼリー剤。

【請求項 2】

リン酸イオン濃度が、2.0 w/w % の局所麻酔薬物当たり少なくとも 90 mM 以上である、請求項 1 記載のゼリー剤。

【請求項 3】

局所麻酔薬物がリドカインまたはその薬学上許容される塩またはその混合物である請求項 1 または 2 に記載のゼリー剤。

【請求項 4】

局所麻酔薬物を 2 w/w % 以上含有していることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のゼリー剤。

【請求項 5】

更に有機酸またはその塩が添加され、2.0 w/w % の局所麻酔薬物当たり 30 mM となる量を含む請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のゼリー剤。

【請求項 6】

有機酸がクエン酸である請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のゼリー剤。